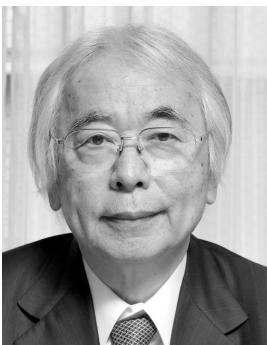


経済制裁を受けているロシア経済の 現状・見通しと課題

ロシア・ユーラシア政治経済ビジネス研究所代表
隈部兼作

- *私とロシアとの関わりについて
- *エネルギー価格に依存した経済
- *対ロシア経済制裁の出身
- *プーチンとオリガルヒの関係は
- *ロシア産原油、ガスの禁輸について
- *LNG事業では仏トタル社を注視
- *経済制裁の影響について
- *ロシアの全否定では出口はない
- *日ロ関係は氷河期入りか
- *ロシア内部から停戦の声は出るか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、隈部さんにおいていただきました。略歴をご覧いただければわかりますように、早稲田の高等学院から早稲田大学の政治経済学部を卒業され、その後、日本輸出入銀行で当時のソ連を中心にさまざまな中東その他の国の担当をされまして、独立してから今の研究所におられます。

ロシア体験がかなり長いわけでございます。皆様ご存じのように、この間、下斗米さんがここでお話をされましたけれども、日本にいますと一方的にアメリカを中心とした戦略的な論調に終始一貫して我々は洗脳されているわけでございます。しかし、ロシアの問題も長い歴史と双方のいろいろな思いが重なっているわけでは

ございますので、今日は少し頭をすっきりさせて多様な考え方をしっかり受け止めていただきたいということで隈部さんをお呼びしたわけでございます。経済がご専門でございますので、これからのロシアをめぐるさまざまな経済情勢についても今日はお話しいただけると幸いです。それでは隈部さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）

私とロシアとの関わりについて

隈部 ただいまご紹介いただきました、ロシア・ユーラシア政治経済ビジネス研究所の隈部です。本日はよろしくお願ひいたします。

今日は、経済制裁を受けているロシアが今どういう経済状況なのか、また、その前までは一